

けんころ

岐阜県総合医療センター

平成19年1月31日発行
 平成18年度 冬号
 ホームページアドレス
http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/gifu_hospital/
 発行責任者 院長 清水 勝
 編集 岐阜県総合医療センター

岐阜県総合医療センターの理念・基本方針・患者様の権利

理念

県民の皆様方に信頼され、患者様本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

基本方針

1. 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
2. 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
3. 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
4. 地域の医療機関や福祉施設との連帯を重視します。
5. 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
6. 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

患者様の権利

- 患者様に次の権利と責務があります。
1. 平等に安全で良質な医療を受ける権利
 2. 十分な説明と助言のもと自分自身の医療を決定する権利
 3. セカンドオピニオンを受ける権利
 4. 個人のプライバシーが守られる権利
 5. 医療従事者と協力して医療に参加する責務

岐阜県総合医療センター 本格稼働

〜これからの病院整備〜

岐阜県総合医療センター院長 清水 勝

新年あけましておめでとうございます。昨年11月6日より名称変更に伴って策定した「岐阜県総合医療センターの理念・基本方針」に基づいて、「患者様の権利」を常に念頭において、本年も気持ちを新たに職員一同取り組んでまいります。

さて、病院整備について、本館は、平成15年12月の着工から33ヶ月の工期により、18年9月に完成しました。皆様方には、この間、工事中の騒音、駐車場の規制など様々なご迷惑をおかけしました。おかげさまで、平成18年11月6日には、開院を迎え、現在では、外来、入院の医療に職員一同、全力で行わせていただいています。

岐阜県総合医療センターの整備工事は、本館棟の建設で第2期工事を終え、引き続き第3期、4期と行われます。このため、外来の患者さんには、旧建物での受付、ご精算、さらには透析の医療、リハビリの医療など、歩行距離の長さで、大変にご不便をおかけいたしております。第3期の工事により、本館棟にアトリウム棟が増築され、既存棟2棟の改修工事がおこなわれます。この工事の完成（平成20年4月頃）により、本館棟との一体化となりご不便が解消されます。大変ご不便をおかけしており、申し訳なく思っています。

第4期工事は、第3期に引き続き既存棟の解体、外構工事を予定しています。ご理解とご協力をお願いします。

外来受診のご案内

電子カルテの導入に伴い、受付方法を変更しました。初診の方と予約の無い再診の方は、旧館1階「初診・再診窓口」で受付して、受付票をお受け取りください。再診で予約のある方は、「再来受付機」で受付して、受付票をお受け取りください。受診が終わりましたら、旧館1階「計算窓口」へ受付票をお出してください。計算ができましたら会計表示板に番号が出ますので「自動支払機」または「支払窓口」でお支払いください。



再来受付機



自動支払機

県民のみなさまに求められる 新病院建設をめざして!!

病院機能

重点医療

- 救命救急センター
- 心臓血管センター
- 母と子ども医療センター
- がん治療センター
- 女性医療センター

重点機能

- 基幹災害医療センター

整備の特徴

- 患者さま中心の施設整備
- 電子カルテの導入

新築工事の概要

- 病床 590床
- 診療科 28診療科
- 場所 岐阜市野一色4-6-1
- 敷地面積 約46,000㎡
- 総事業費 約272億円
- 構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造り
- 大地震にも耐えうる免震構造

地上10階 高さ49.9m・地下1階
 延床面積 約57,000㎡
 設備機能 コージェネレーションシステム
 太陽光発電
 駐車場 1200台（平成20年度以降）

主なスケジュール

平成18年 秋 本館完成 開院
 平成18年度～19年度 既存病棟改修・解体工事
 平成19年度～20年度 外構工事



〔平成20年度完成予想図〕北東からの外観

岐阜県総合医療センター

泌尿器科の紹介

泌尿器科部長
高橋 義人

現在泌尿器科は4人で診療を行っています。月曜日は手術日で初診担当医は不定期ですが、火曜日は高橋部長、水曜日は谷口主任医長、木曜日は多田医長そして金曜日は中根医師が初診を担当しております。本年11月の岐阜県総合医療センターへの移行と同時に完全電子カルテになりました。カルテの内容、レントゲン写真を一緒に見ていただき、ご自身に関する情報、結果を隅から隅までお知りになることができません。電子カルテを駆使してとまでは参りませんが、うまく使って日々の診療を行うことをこころがけています。さて、泌尿器科では、腎臓、尿管、膀胱、尿道に至る尿路全体、精巣などの陰嚢内容、陰茎、前立腺といった男性生殖器に関する様々な疾患を取り扱います。取り扱う疾患は、腎癌、腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣癌などの悪性腫瘍をはじめ、高齢男性に多くみられる前立腺肥大症、副腎腫瘍などの良性腫瘍もあります。最近では排尿に関する症状についての相談が



腹腔鏡手術施行中：手術参加者は、モニターに映し出された拡大した視野を見ている。全員が同じ視野を共有している。(写真1)

男女を問わず増えています。さらに、尿路結石や、腎盂腎炎、膀胱炎などの感染症まで、さまざまな疾患に対してその診断から手術を含めた治療まで行っています。なかでも、癌治療に対しては地域の基幹病院としての役割を果たすため最新の医療情報の取得につとめ、手術療法を中心に、抗癌剤などの化学療法、サイトカイン療法、放射線療法を行なっています。放射線療法については、当センター放射線治療部に協力をあおいで行っています。各種治療ガイドラインなどの最新情報を参考にして治療体系を組み立てています。なかでも手術は、泌尿器科でおこなう癌治療の中心です。年間450例ほどの手術を行っています。この内訳は、癌に対する治療が約230例、尿路結石に対する治療が約150例です。今回特にご紹介したいのは、腹腔鏡手術(写真1)です。腎癌、腎盂癌、尿管癌に対しては、腎摘出



通常の手術の術創(写真2)に比べ腹腔鏡手術の術創(写真3)は小さくなります。(写真2)通常の手術の術創 (写真3)腹腔鏡手術の術創

術、腎尿管摘出術が標準手術ですが、本年からは、腎摘出術・副腎摘出術に関しては、腹腔鏡下手術を積極的におこなっています。昨年4月に赴任した私(高橋)は、岐阜県で最初の泌尿器腹腔鏡手術技術認定医です。腹腔鏡下の拡大された視野で、微細な構造を把握しつつ、精度の高い手術が可能となっています。癌以外では尿路結石症と排尿障害でご相談に見える方が多くいらっしゃいます。以前は、男性の排尿障害は前立腺肥大症というのが通り相場でした。現在では、排尿に関するさまざまな機構、仕組みが判明してきています。前立腺の大きさと排尿障害の程度は必ずしも対応しないこともわかってきています。前立腺は小さくなくても、排尿に関する症状が強い方は多く見えます！また、排尿障害については、男性だけでなく、女性にも多く方が悩んでいることがわかってきています。LUTS(下部尿路症候群)、OAB(過活動膀胱)、間質性膀胱炎など、男性のみならず女性の排尿障害に関する病状が明らかになってきており、排尿という日々の生活の事象のなかで、多くの方が悩んで見えます。勇気を奮って一度泌尿器科を受診してみてください。



中根医師 多田医長 高橋部長 谷口主任医長 柴田看護師 森看護師

提案箱



お知らせ 提案箱は本館及び旧外来棟1階の総合案内に備えています。ご提案への対応回答は本館エントランスホール「情報コーナー」で掲示しています。また各病棟には「意見箱」がありますのでご意見をお寄せください。

ご提案 たばこのにおい 玄関からたばこのにおいが入ってきました。敷地内禁煙としてください。

回答 平成18年11月3日から敷地内禁煙としました。皆様のご理解とご協力をお願いします。

ご意見 椅子について 待合の椅子が堅く座っているのがつらい。長いすがあるとよい。椅子の角度が悪い。椅子が少ない。(同意見7件)

回答 診察の待ち時間の間、横にならなりたい患者様もみえますので、検査部門の待合等について一部新たに長いすを追加設置しました。今後とも待合の状況を見ながら限られたスペースですが長いすの増について検討してまいります。

漢方薬について

今回は漢方薬についてお話しします。

1 漢方薬の考え方

漢方医学は、病気を陰陽のバランスの崩れとしてとらえています。そこで、病気を治すことはその陰陽バランスを回復することだという考え方に基づき漢方薬が使用されますので、西洋医学の治療とは異なり「この病気にはこの薬」という決まりきった関係はなく、患者さん一人ひとりの体質やそのときの症状によって薬の内容が決まります。

例えば、葛根湯は風邪の薬としてよく知られていますが、肩こり、中耳炎、扁桃腺炎などにも用いられます。

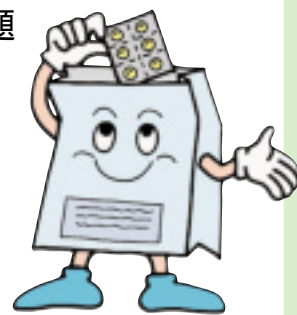
2 漢方薬の種類

漢方薬は葛根湯と言うように「～湯」というものは「湯剤」(煎じ薬)として使用されますが、当归芍薬散、五苓散などというように「散剤(生薬をそのまま粉碎した状態)」、桂枝茯苓丸、八味丸などのように「丸剤(散剤を蜂蜜や白酒で丸状に練り合わせたもの)」、紫雲膏などの「膏剤(外用軟膏)」など数多くの種類があります。

現在では、生薬を煎じてできた液を濃縮し乾燥させ、携帯に便利な形にした「エキス剤」という種類のものが主に使用されています。

3 漢方薬の飲み方

漢方薬は本来、生薬を煎じたままをのんでいました。漢方薬のエキス剤は、白湯に溶かすことで、本来の形に近くなります。コップ一杯の白湯に溶かして、味や香りを十分に楽しみながら、のんでみてください。それが刺激となって、薬の効果を高めることもあります。もちろん、エキス剤のままで服用しても全く問題ありませんが、必ずコップ一杯程度の水または白湯で服用してください。



看護部からのお知らせ

8階東「女性病棟」の紹介

8階東病棟長 横山康宏
病棟看護師長 斉藤 登美枝

新病院になり病棟での運用や電子カルテの導入など、当初はとまどうことも多かったのですが、徐々に軌道に乗っています。スタッフも勉強会を重ねきめ細かな看護を提供出来るよう努力して

8階東「女性病棟」には、婦人科、乳腺外科、外科、消化器科の女性の患者様が入院されています。女性特有の病気を持つ患者様が多い病棟です。そのため、患者様が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護や安らぎ作りに努めています。病棟の一角に安らぎコーナーを設けてBGMを流しています。そこで、患者様は毎朝音楽を聴きながらお互いに励ましあっておられます。



けるように検討を重ねていくと、この病棟に入院して良かったと思っていただけの関わりを大切にしたいと願いながら「安全で適切な医療サービスの提供」に日々奮闘していきま

います。まだまだ不十分な点もありませんが患者様のご意見も伺い、少しでも安心して入院していただ

栄養管理担当です！

お知らせ

病棟食堂が設置されました

4階から10階まで、東病棟と西病棟の中間に談話室を兼ねた食堂が設置されました。

入院患者様で希望される方は、食堂で給食を召し上がることができます。



第20回

選択メニューを実施しています

「並食」と「軟菜食」の患者様を対象に毎日昼食と夕食に「選択食」を実施しています。ベッドサイド端末を利用して申し込みをしていただきます。「並食」「軟菜食」の患者様の端末には、1週間分のメニューと写真が表示されます。



並食A



並食B

個別の栄養相談を実施しています

外来・入院患者様を対象に、月曜日から金曜日（祝日除く）まで、午前・午後と毎日実施しています。原則予約制となっていますので、希望される患者様は主治医にご相談下さい。

新病院本館2階に「いやしのギャラリー」リニューアル・オープン

平成14年5月に設置され、来院者の皆様などに癒し・安らぎの空間として親しまれてきました「いやしのギャラリー」が、新病院本館2階のホスピタル・モールにリニューアル・オープンしました。

旧病院では13m余りだった展示スペースは、新病院では22m余りと広くなりました。リニューアル最初は、岐阜市長森の梶富士子さんがポタニカルアート（植物精密画）31点を展示されました。

「いやしのギャラリー」に出展を希望されるかたは、総務課管財担当にご相談ください。



ボランティアを募集しています

平成19年1月現在のボランティア登録者は17名です。旧外来棟1階の受付から本館への通路誘導や診療科の案内など、来院者の方に親切に接しています。ボランティアに興味のある方のご参加をお待ちしています。

問い合わせ申し込みは、事務局総務課管理調整担当まで（電話 058-246-1111 内線4297）

～ボランティアの方から～（ボランティア 小川和美さん）

旧館と本館を一日何往復もするのでクタクタに疲れてしましますが、案内をすると「ありがとう」とお礼を言ってくださり私もとてもうれしくなります。

その楽しさと、自分の健康のありがたさを再認識することができることでボランティアが続いているのだと思います。

編集

この広報紙「けんこう」は皆様の健康のお役に立てる広報紙を目指しています。ご意見、ご要望をお待ちしています。

岐阜県総合医療センター 広報委員会

総務課 三輪 内4226
〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号
TEL. 058-246-1111 FAX. 058-248-3805
Eメールアドレス c22601@pref.gifu.lg.jp
ホームページ http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/gifu_hospital/

検査の疑問に お答えします！

【臨床検査部】

【本館2階 中央採血室のシステムが新しくなりました！】

本館の完成により検査受付や採血、採尿のシステムを変更しました。

血液や尿に含まれる成分を分析して、病気の診断や治療の効果、予後の判定をするために、患者様から採血をさせていただいたり採尿をしていただく必要がありますので、ここで「受付票」を提出してください。

尿検査が必要な患者様には「採尿コップ」をお渡しします。



新しい採血・採尿受付

採血がある患者様には、「番号整理券」をお渡しします。採血室は混み合う時間帯がありご迷惑をお掛けする場合がありますが、番号から待ち時間の程度がお判りになると思います。

入り口の採血番号表示がご自分の番号になりましたら採血室の中へお入りください。

患者様のプライバシーに配慮した新しい採血ブースで担当者が採血をさせていただきます。



新しい中央採血室

Q：患者様

なぜ、こんなに何本も採血をするのですか？

A：臨床検査部

採血管は検査の種類によって使い分けられ、あらかじめ薬品の入った採血管なども使用します。したがって、検査の種類によって採血管や採血の量が変わり、検査の項目が多い場合には、採血管の本数が増える訳です。



採血管の種類

第5回県民健康セミナーを開催しました（平成18年11月25日）

県民の皆様を対象として、「あなたの健康を守る岐阜県総合医療センター」をテーマとして重点医療の紹介など寸劇を交えて、岐阜メルサホールにて約200名のご参加をいただき開催しました。

